

性的同意を取る

積極的な4つのイエス

お互いが対等・平等な立場であることが基本です。その中で、次の4つのこと全てに合意・納得して、明確に「イエス」という意思が確認できて初めて、「性的同意が取れた」ということができます。

◆相手

◆時（「今日は嫌だ」など）

◆場所（「ここでは嫌だ」など）

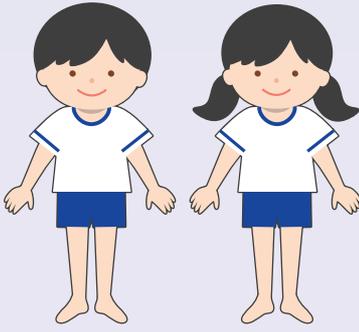
◆方法（避妊する、しないなど）

性的同意で守られる3つのこと

明確なイエス以外の答えはノーであり、「嫌だ」という言葉は拒否の表明です。

プライベートゾーン

体操服で隠れる部分（胸・性器）と口を指します。他者からの身体的な接触を拒否していい大切な場所です。



性的自己決定権

性行為をするかどうかは、自分の意思で決めるものです。私たちには、ノーと相手に伝えていい権利があります。

性と生殖に関する健康・権利

避妊する、子どもを持つ・持たないも、全て自由であるという権利があります。

性的同意の伝え方と受け取り方

ノーの伝え方、受け取り方のトレーニングも必要です。断られたからといって人格を否定されたということではありません。

「今日は性行為をしたくない」と伝えること、その気持ちを受け取ることなど、より良いコミュニケーションを取っていくことが大切です。

同意のない性行為をしたときや、避妊に失敗をしたときは

産婦人科で緊急避妊ピル（72時間以内）の相談ができます。

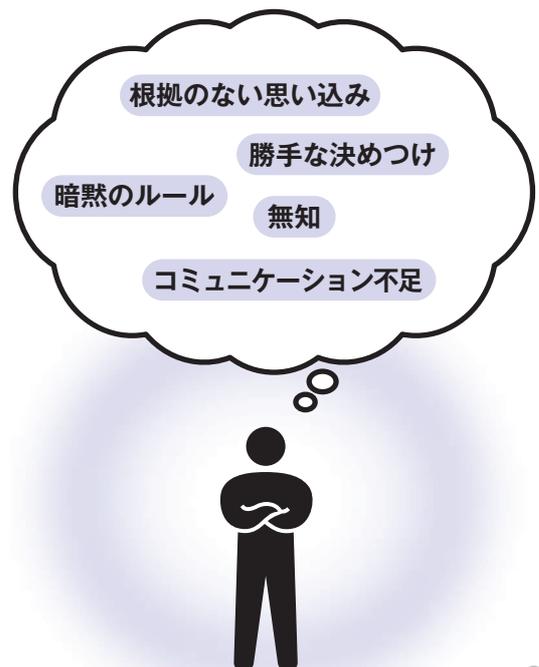
相談窓口は次のページに掲載しています。あなたの周りに、困ったり悩んだりする人がいたら、伝えてください。

（参考 ウィングス京都 [GENDER HANDBOOK]）

性的同意を取るって、どういうこと？

「そうだ」と思うものをチェックしてみましょう。いくつ当てはまりますか。

- 二人きりでデートに行くことは、性行為を前提としている
- キスをしたら、性行為をしてもいい
- 相手が嫌と言っている、「嫌よ、嫌よ好きのうち」なので性行為をしていい
- 相手が嫌と言っていなかったら、性行為もOKのサインである
- 酔った勢いで、性行為に及ぶのは仕方ない
- 互いに成人していれば、性行為の際に同意を求める必要はない
- 家に泊まるのは、性行為をしてもいいというサインだ
- 付き合っていれば、性行為をするのは当たり前だ
- 同じ相手に、毎回、性行為の同意を取る必要はない
- ナイトクラブに来る人は出会いや性的交遊を求めて来る人が多いので、性行為の際に同意を取る必要はない



1つでも当てはまるなら要注意
性的同意は取れていません